

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略
進捗管理資料(平成30年度版)

もくじ

重点戦略	1
基本目標	7
基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する	8
I 目標指標	8
II 各方針の状況	8
【施策1】 津島市で子育てしたくなる環境づくり	8
【施策2】 子どもが健やかに成長できる環境づくり	10
基本目標2 津島市に住み続けながら働けるようにする	11
I 目標指標	11
II 各方針の状況	11
【施策1】 多様で安定した職場の開拓	11
【施策2】 利便性の高い居住環境の整備	13
【施策3】 企業と若者との接点の強化	15
基本目標3 人の交流・活動を活発にし、都市イメージを改善する	16
I 目標指標	16
II 各方針の状況	16
【施策1】 若い人の活躍機会の拡充と発信	16
【施策2】 歴史・文化を活かしたまちづくり	17
【施策3】 シティプロモーションの展開	19
基本目標4 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る	21
I 目標指標	21
II 各方針の状況	21
【施策1】 防災・減災対策の充実	21
【施策2】 健康寿命の延伸	23
【施策3】 自治活動・市民活動の活性化	25

重点戰略

目標

結婚による世帯形成や持ち家取得時の居住場所として、津島市を選んでもらうことにより女性の減少を抑制し、子どもの増加をめざす

I ターゲット

- i) 県内の人と結婚予定の女性
- ii) 市内の借家に住んでいる子育て世帯
- iii) キャリアアップ志向のある女性

II 関連する基本目標

- 基本目標1** 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する
- i) 津島市で子育てしたくなる環境づくり
 - ii) 子どもが健やかに成長できる環境づくり
- 基本目標2** 津島市に住み続けながら働けるようにする
- i) 多様で安定した職場の開拓
 - ii) 利便性の高い居住環境の整備
 - iii) 企業と若者との接点の強化
- 基本目標3** 人の交流・活動を活発にし、都市のイメージを改善する
- i) 若い人の活躍機会の拡充と発信
 - ii) 歴史・文化を活かしたまちづくり
 - iii) シティプロモーションの展開
- 基本目標4** 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る
- i) 防災・減災対策の充実
 - ii) 健康寿命の延伸
 - iii) 自治活動・市民活動の活性化

目標 市外に働きに出ても、津島市内に住み続けることを希望する若者を増やす

I ターゲット

- i) 名古屋市及び周辺に就職する若者
- ii) 就職先を探している若者
- iii) 就職で市外に出た若者

II 関連する基本目標

- 基本目標1** 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する
- i) 津島市で子育てしたくなる環境づくり
 - ii) 子どもが健やかに成長できる環境づくり
- 基本目標2** 津島市に住み続けながら働けるようにする
- i) 多様で安定した職場の開拓
 - ii) 利便性の高い居住環境の整備
 - iii) 企業と若者との接点の強化
- 基本目標3** 人の交流・活動を活発にし、都市のイメージを改善する
- i) 若い人の活躍機会の拡充と発信
 - ii) 歴史・文化を活かしたまちづくり
 - iii) シティプロモーションの展開
- 基本目標4** 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る
- i) 防災・減災対策の充実
 - ii) 健康寿命の延伸
 - iii) 自治活動・市民活動の活性化

目標

名古屋駅周辺の就業者の拡大を見込んで、名古屋市への通勤者の転入者を増やす

I ターゲット

- i) 名古屋駅周辺の職場への通勤者
- ii) 名古屋駅周辺の職場に通勤する共働き世帯
- iii) 名古屋駅周辺の職場で働いて持ち家取得を希望する世帯

II 関連する基本目標

基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する

- i) 津島市で子育てしたくなる環境づくり
- ii) 子どもが健やかに成長できる環境づくり

基本目標2 津島市に住み続けながら働けるようにする

- i) 多様で安定した職場の開拓
- ii) 利便性の高い居住環境の整備
- iii) 企業と若者との接点の強化

基本目標3 人の交流・活動を活発にし、都市のイメージを改善する

- i) 若い人の活躍機会の拡充と発信
- ii) 歴史・文化を活かしたまちづくり
- iii) シティプロモーションの展開

基本目標4 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る

- i) 防災・減災対策の充実
- ii) 健康寿命の延伸
- iii) 自治活動・市民活動の活性化

重点戦略4 元気で魅力的な都市イメージを形成する

目標

津島市の都市イメージを高め、若い人の定住を促すとともに、安定した交流人口の拡大を図り、雇用機会とそこで働く若い人を増やす

I ターゲット

市内、市外の住民

II 関連する基本目標

- 基本目標1** 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する
- i)津島市で子育てしたくなる環境づくり
 - ii)子どもが健やかに成長できる環境づくり
- 基本目標2** 津島市に住み続けながら働けるようにする
- i)多様で安定した職場の開拓
 - ii)利便性の高い居住環境の整備
 - iii)企業と若者との接点の強化
- 基本目標3** 人の交流・活動を活発にし、都市のイメージを改善する
- i)若い人の活躍機会の拡充と発信
 - ii)歴史・文化を活かしたまちづくり
 - iii)シティプロモーションの展開
- 基本目標4** 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る
- i)防災・減災対策の充実
 - ii)健康寿命の延伸
 - iii)自治活動・市民活動の活性化

重点戦略と施策体系との関係

重点戦略	20～30歳代の女性の 転出を抑制する	就職期の若者の転出を 抑制する	名古屋市への通勤者の 転入を増やす	元気で魅力的な 都市イメージを形成する
施策の基本目標・施策				

若い世代の結婚・出産・子育てを応援する	津島市で子育てしたくなる環境づくり	◎		◎	○
	子どもが健やかに成長できる環境づくり	◎		◎	○

津島市に住み続けながら働けるようにする	多様で安定した職場の開拓	○	◎		
	利便性の高い居住環境の整備	◎	○	◎	
	企業と若者との接点の強化	○	◎		

人の交流・活動を活発にし、都市のイメージを改善する	若い人の活躍機会の拡充と発信	◎	◎	○	◎
	歴史・文化を活かしたまちづくり		○	○	◎
	シティプロモーションの展開	◎	◎	◎	◎

時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る	防災・減災対策の充実			○	
	健康寿命の延伸			○	
	自治活動・市民活動の活性化			○	○

◎：戦略を達成するために行う事業

○：直接的ではないものの、事業を行うことで間接的に寄与する事業

基本目標

基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育てを応援する

若い女性の転出を抑制し、子育て世代の定住を促進し、女性と子どもの数の減少を抑制する。

I 目標指標

基本目標に掲げる指標は下記のとおりです。

指標名	目標値(平成31年度)	基準値(平成27年度)
子育てしやすいまちだと思ふ人の割合(%)	60.0	56.0
年間の出生数(H27~31年度の平均)(人)	519	402

II 各方針の状況

【施策1】津島市で子育てしたくなる環境づくり

i) 施策の方針

妊娠・出産の支援
出産後の子育ての不安の解消 → 妊婦や産後の健康管理、不妊治療の支援等
相談、親子の交流機会の充実

希望の子ども数が産める環境づくり → 経済的負担を軽減する各種支援制度の充実

子育てしながら充実した生活を送ること
ができる環境の実現 → 親の社会的な活動への参加と子育てを両立できる環境づくり

この関連施策として、子育て家庭を増やして事業効果を高めるため、関係機関が実施する婚活事業の支援を実施します。

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成29年度の実績値の割合です。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	達成度
子育て支援センター利用者 延人数(人)/各年	目標値	22,500					96%
	基準値	16,508					
ファミリー・サポート・センター 利用者延数(人)/各年	目標値	1,500					70%
	基準値	1,052					
不妊治療費助成対象者数 (人)/各年	目標値	15					133%
	基準値	11					
病児・病後児保育の利用者 数(人)/各年	目標値	100					105%
	基準値	53					
	計画			21,000	21,500	22,000	
	実績		20,276	23,376	21,631		
	計画			1,000	1,150	1,350	
	実績		879	1,214	1,053		
	計画			15	15	15	
	実績		13	20	20		
	計画			70	70	100	
	実績		19	93	105		

iii) 主要な施策の状況

ア 子育て支援センターの機能強化

		方針	継続	番号	1102
事業名	地域子育て支援拠点事業	担当部	健康福祉部		
		担当課	子育て支援課		
事業概要		乳幼児の親同士の交流や子育てに関する情報の提供を行い、地域の方々と助け合いによる子育て支援を行う。			
H29	実績	子育てアプリ配信開始、子育て世代包括支援センターの開設、支援センターの土日開所、支援センターの委託化検討			
	評価	支援センターの委託化について、受け入れ先が見つからないため進んでいないが、引き続き検討を進める。			
H30 取組		支援センターの委託化検討。 支援センターの業務については現在保育士が行っているが、委託化を行うと保育士ではない人が業務につくことになり、サービスの低下が懸念される。サービスの低下が起こらない形での委託化を模索する。			

イ ファミリー・サポート・センター事業

		方針	継続	番号	1104
事業名	ファミリー・サポート・センター事業	担当部	健康福祉部		
		担当課	子育て支援課		
事業概要		子育ての手助けをして欲しい依頼会員と子育てをお手伝いしたい提供会員が互いに助け合いながら子育て支援を行う。			
H29	実績	未就園児の預かり、園児の登降園、小学校の登下校、習い事、産前産後の家事、病児・病後児の預かり等に係る援助			
	評価	各事業のPRに努め、利用者増を図る。			
H30 取組		未就園児の預かり、園児の登降園、小学校の登下校、習い事、産前産後の家事、病児・病後児の預かり等に係る援助。事業内容のPRの拡大を図り、さらなる利用者増を目指す。			

ウ 不妊治療費助成

		方針	継続	番号	1109
事業名	不妊治療費助成事業	担当部	健康福祉部		
		担当課	健康推進課		
事業概要		不妊に悩む夫婦に対し、人工授精に要する費用の一部を助成することにより、その経済的な負担の軽減を図り、もって、少子化対策の充実を図る。			
H29	実績	ホームページ、広報への掲載、申請件数 20件			
	評価	引き続きホームページや広報での掲載を行い、市民周知を続ける。			
H30 取組		ホームページ、広報への掲載。愛知県の実施要綱に基づき実施していく。			

エ 多様な保育サービスの充実

		方針	継続	番号	1111
事業名	多様な保育サービスの充実	担当部	健康福祉部		
		担当課	子育て支援課		
事業概要		延長保育、一時的保育、休日保育、病児・病後児保育など、ニーズに応じた多様な保育サービスを提供する。			
H29	実績	延長保育、一時的保育、休日保育、病児・病後児保育を実施。			
	評価	保育料の減免の実施により、子育て家庭の応援になったものと思われる。			
H30 取組		延長保育、一時的保育、休日保育、病児・病後児保育を実施。利用者数の増加のため、各事業のPRに努める。			

【施策2】 子どもが健やかに成長できる環境づくり

i) 施策の方針

子どもの個性や意欲を育む	→	特色のある教育の推進(外国語教育の充実、各界の第一人者との交流等)
子どもの健やかな成長を支える	→	総合的な体力の向上(充実した学校給食の提供、体づくり等) 家庭・地域との連携・協力の強化(スポーツ、多世代の交流機会等)

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成29年度の実績値の割合です。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	達成度
新体力テストにおける体力章交付者の割合(%)	目標値1	10.0	計画	10.0	18.0	18.0	181%
	基準値1	7.9					
	・目標値1 小学生/(各年)	目標値2	14.0	計画	14.0	14.0	
	・目標値2 中学生/(各年)	基準値2	11.7				
学校支援地域本部設置数(箇所)/(各年)	目標値	2	計画	12	12	12	600%
	基準値	1					

iii) 主要な施策

ア 総合的な子どもの体力強化

		方針	継続	番号	1204
事業名	総合的な子どもの体力強化		担当部	教育委員会	
			担当課	学校教育課	
事業概要	子どもの頃の基礎体力を充実し、生涯にわたって健康な身体を維持できるよう体力づくりプログラムを推進する。				
H29	実績	各小中学校において総合的な子どもの基礎体力向上大作戦(SKIP)を実施した。			
	評価	学校独自のプログラムにより、体力作りを推進した。			
H30 取組	各小中学校において総合的な子どもの基礎体力向上大作戦を実施する。引き続き学校ごとに、体力向上に向けた取組を実施していく。				

イ 学校支援地域本部の推進

		方針	拡大	番号	1207
事業名	学校支援地域本部及びコミュニティ・スクールの推進		担当部	教育委員会	
			担当課	学校教育課	
事業概要	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもの成長を見守る体制を推進し、一緒になって学校運営に取り組む仕組みをつくる。				
H29	実績	学校支援地域本部による活動を開始する。 神守中・天王中で学習支援を実施。 神守中学校においてコミュニティ・スクール導入検討を開始			
	評価	12小中学校すべてにおいて学校支援地域本部を立ち上げた。 神守中・天王中で学習支援を実施した。			
H30 取組	スクール導入を推進。 環境が整った学校から、学校支援地域本部からコミュニティ・スクールへ移行していく。				

基本目標2 津島市に住み続けながら働けるようにする

就職期に転出する若者を減らす。

I 目標指標

基本目標に掲げる指標は下記のとおりです。

目標指標名	目標値 ^(平成31年度)	基準値 ^(平成27年度)
社会増減数(人)	0	△340

II 各方針の状況

【施策1】 多様で安定した職場の開拓

i) 施策の方針

地域企業による安定した雇用機会の確保



・地域企業の新事業開拓の取組を支援し、
経営基盤の強化を支援
・新規企業の誘致の推進

起業の促進



伴走型のきめ細かい支援

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成29年度末時点の実績値の割合です。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	達成度
市内の特定創業支援を受けた創業者数(件)※	目標値	20	計画	5	5	5	35%
	基準値	-	実績	0	6	1	
企業誘致件数(件)※	目標値	8	計画	1	3	2	38%
	基準値	-	実績	0	1	2	

※目標値については、5年間の累計、計画値・実績値については、年度毎の数値

iii) 主要な施策

ア 地域における創業支援体制の構築

		方針	継続	番号	2105
事業名	起業環境整備事業	担当部	建設産業部		
		担当課	産業振興課		
事業概要		市内創業希望者に対し、創業に必要な知識を学ぶセミナーを開催し、その修了者に対し、空き家・空き店舗物件などの環境整備を支援し、市内での創業を促す。			
H29	実績	商工会議所が行う創業セミナー、第二創業セミナーを支援			
	評価	商工会議所が行う創業セミナー、第二創業セミナーを支援した。			
H30 取組		・商工会議所が行う創業セミナー、第二創業セミナーを支援 ・出展に結び付けた他市町村の事例集集、制度研究 引き続き商工会議所を支援し、創業希望者などを支援するとともに、空き店舗情報を提供する等、市内への開業率を増やす。			

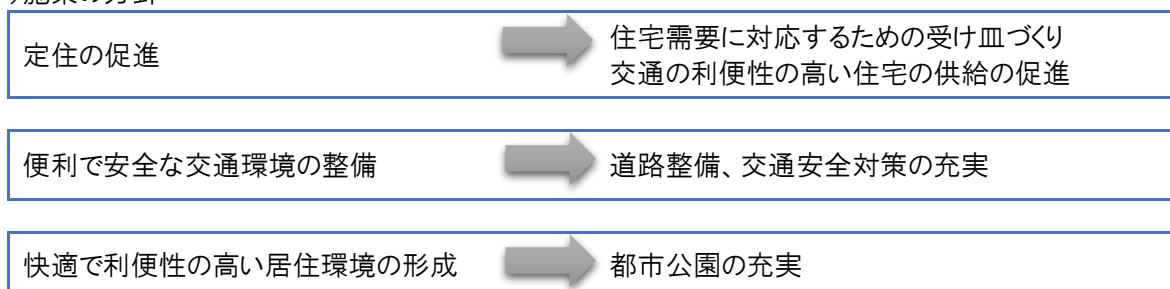
		方針	継続	番号	2203
事業名	地域企業の新分野・新事業開拓支援	担当部	建設産業部		
		担当課	産業振興課		
事業概要		国、県等の各種制度や機能を有効に活用して、市内企業の新分野・新事業開拓を支援する。			
H29	実績	地方拠点強化税制による地域再生計画に位置付けし、津島市に本社移転する企業への優遇体制を整備した。 地域未来投資促進法による基本計画に位置づけし、当制度による優遇体制を整備した。			
	評価	工場立地法に基づく準則条例を改正した。早速、企業進出を促進する区域において活用がされた。 地方拠点強化税制と地域未来投資促進法による計画に位置づけし、制度活用の基盤を整えた。			
H30 取組		国、県等の制度を注視し、当市における活用を検討し、位置づけしていくことで企業への支援体制の整備を図る。			

イ 企業誘致の推進

		方針	継続	番号	2101
事業名	企業立地推進事業	担当部	建設産業部		
		担当課	産業振興課		
事業概要		市外企業の誘致及び市内企業支援により転出抑制を行い、市内産業の活性化、雇用の創出を図る。			
H29	実績	企業からの相談に対応し、進出に結びつけた。 進出に関連し、市道を廃止(鹿伏兎65号線・鹿伏兎66号線)(都市整備課)			
	評価	33社/年の相談に対応し、7社に対し継続して誘致活動を行っている。また、1社が当市への進出を決定し法手続きに入る等、成果が出ている。			
H30 取組		企業進出を支援し、立地に結びつける。企業進出による雇用、税収効果が高いため継続実施する。誘致企業が優遇制度を活用するため、予算が必要。			

【施策2】 利便性の高い居住環境の整備

i) 施策の方針



ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成29年度末時点の実績値の割合です。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	達成度
空家等利活用件数(件)※	目標値	20	計画	0	2	10	5%
	基準値	-	実績	0	0	1	
地区計画箇所数(件)※	目標値	2	計画	0	1	1	50%
	基準値	-	実績	1	0	0	

※目標値については、5年間の累計、計画値・実績値については、年度毎の数値

iii) 主要な施策

ア 空家等既存ストックの有効活用

		方針	継続	番号	2203
事業名	コミュニティリノベーション事業	担当部	市民生活部		
		担当課	市民協働課		
事業概要	空き家等を有効に活用し、地域の多様な世代が集まる交流の場を生み出し、全ての世代が相互に助け合いながら活躍できるまちを目指し、にぎわいを創出する。				
H29	実績	活用する空き家を選定し縁側カフェモデルの整備及び運営を行うとともに、多世代における主体形成のためのワークショップ及び担い手育成等を実施。			
	評価	多様な世代の人が気軽に集い、交流できる場づくりとして、地域住民による利用方法の検討・担い手育成などのワークショップを行うとともに、モデル施設の整備を行った。			
H30 取組	縁側カフェ等、市内における交流の場の創設。市内全域への展開に向けて、モデル施設の成功の要因を分析し、他の地域へ波及させる。				

		方針	継続	番号	2203
事業名	商店街空き店舗対策(天王信仰の総本社「津島神社」への参道を核とした門前町再生事業)	担当部	建設産業部		
		担当課	産業振興課		
事業概要	天王通りのまちづくりを行うため、まちづくりのアイデアを募集しワークショップで検討し具現化に向けた取組みを行う。また、消費につながる仕組みを創出するため、出店者が活用する空き店舗マッチングシステムを構築、運用し、店舗で、体験プログラムを実施できるシステムを構築、運用することで活性化を図る。				
H29	実績	アイデアの全国公募、ワークショップ開催、マッチングシステム構築、体験プログラムシステム構築、試行			
	評価	体験プログラムやシステムの構築、天王通りの目指すべき姿など今後引き続き事業を進めていく上での基盤を構築することができた。			
H30 取組	体験プログラム検証・拡大試行、マッチングシステム試行、空き家調査、データベース化、移動手手段の検討 国の地方創生推進交付金をH31年度まで活用し、必要に応じて事業を見直ししながら、目的の達成を図る。				

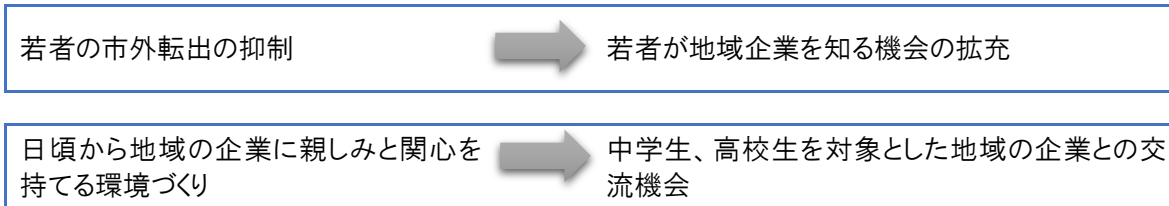
イ 用途地域の見直し

		方針	継続	番号	2202
事業名	暫定用途地域(30/50)見直し事業	担当部	建設産業部		
		担当課	都市計画課		
事業概要	用途地域の第1種低層住居専用地域(暫定用途地域)の解消に向けて、良好でゆとりある居住環境等を目指すため、区内住民等と協議を行い地区計画を策定し、必要な公共施設(道路・公園)の整備を行いつつ適正な土地の有効活用を促進する。				
H29	実績	【神守中町地区】第2公園用地取得、公園詳細設計 【神守下町地区】素案作成、説明会及び関係機関協議			
	評価	施設整備を着実に進め、また神守下町地区の地区計画指定に向け関係機関及び地区説明会を開始し手続きを進めた。			
H30 取組	【唐臼地区】説明会及び関係機関協議、法定手続き、議案上程 【中地・愛宕地区】土地意向調査 法手続きに向け、意見集約の迅速化と決定プロセスの透明性、さらには実現可能な整備水準であるかを検討する必要がある。				

		方針	拡大	番号	2202
事業名	生産緑地制度見直し事業	担当部	建設産業部		
		担当課	都市計画課		
事業概要	平成30年4月1日施行の改正生産緑地法では平成4年の当初指定から30年経過する生産緑地に対して、所有者等の意向を基に、当該生産緑地を特定生産緑地として新たに指定できることとなった。このため30年を迎える平成34年度までに特定生産緑地への手続きを行う。				
H29	実績	改正生産緑地の説明会出席のほか、県が主催する制度運用に必要とするガイドライン策定ワーキンググループに参加し制度運用への理解を深めた。			
	評価	法改正による制度概要のほか、運用に必要な基準項目に対して理解を深める事ができた。			
H30 取組	指定基準の見直しに向け条例制定の必要性を検証する。新制度への指定に向け、土地所有者等や農業委員会、JAなどに啓蒙ビラの配布や意向調査を実施する。特定生産緑地の指定に向け登記や納税猶予の情報収集のほか、指定基準の見直しに向け浸水被害実績や道路幅員などを基に検討する。				

【施策3】 企業と若者との接点の強化

i) 施策の方針



ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成29年度末時点の実績値の割合です。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	達成度
関係機関と連携した企業説明会の開催数(回)/各年	目標値	2	計画	1	1	1	50%
	基準値	1		実績	0	0	

iii) 主要な施策

ア 企業情報の提供

		方針	継続	番号	2301
事業名	企業情報の提供、職場体験機会提供	担当部	建設産業部		
		担当課	産業振興課		
事業概要	市内企業の情報発信を行い、職場体験機会の提供等、若者が地域企業をより深く知る機会を提供する。				
H29	実績	ハローワークと海部・津島合同就職フェアを共催で実施した。 商工会議所等が実施する企業説明会を後援した。			
	評価	商工会議所等が実施する企業説明会を共催又は後援し、チラシ配布、広報掲載等を行った。 当セミナーにより就職へ繋がった参加者があった。			
H30 取組	商工会議所等が実施する企業説明会を支援し、市内への就職及び定住促進を図る。				

基本目標3 人の交流・活動を活発にし、都市イメージを改善する

定住人口、交流人口の増加をもたらし、さらに都市イメージが高まるといった好循環を実現する。

I 目標指標

基本目標に掲げる指標は下記のとおりです。

目標指標名	目標値 ^(平成31年度)	基準値 ^(平成27年度)
市民で津島市に魅力を感じている人の割合(%)	32.0	24.0

II 各方針の状況

【施策1】若い人の活躍機会の拡充と発信

i) 施策の方針

津島市に対する市内外の若者・女性の
関心を高める



- ・若者・女性が地域の中で活躍する機会の拡充
- ・若者・女性同士の交流の促進
- ・新たなビジネスチャンスにチャレンジしようとする若者・女性の起業の支援
- ・若者や女性の姿や声の紹介

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成29年度末時点の実績値の割合です。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	達成度
つしままちづくり提案事業 実施件数(件)/各年	目標値	15	計画	15	15	10	87%
	基準値	14		実績	19	8	

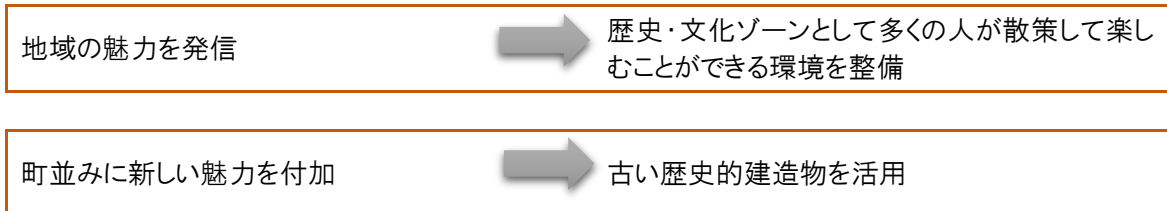
iii) 主要な施策

ア 夢まちづくり事業

		方針	継続	番号	3101
事業名	市民活動団体人材育成講座		担当部	市民生活部	
			担当課	市民協働課	
事業概要	市民活動団体向けの人材育成講座の開催。 市民活動団体自身が企画・運営する市民向け講座の開催(ちょこらぼ講座)				
H29	実績	市民活動団体人材育成講座は未開催。 市民活動団体が講座を開催した。			
	評価	市民活動団体に、活動する場と活動をPRする機会を提供することができた。			
H30	取組	市民活動団体が講座を開催。30年度は一般財団法人の助成金を活用し、団体向け講座を予算計上することができた。次年度以降は、講座を受けた市民や団体が講座等を開催し受講成果を繋げていく。			

【施策2】 歴史・文化を活かしたまちづくり

i) 施策の方針



ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成29年度末時点の実績値の割合です。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	達成度
町家・山車蔵等の修景費 助成件数(件)※	目標値	10	計画	実績	4	3	33%
	基準値	-			0	0	
堀田家住宅観覧者数 (人)/各年	目標値	5,000	計画	実績	5,000	5,000	86%
	基準値	4,150			4,436	5,827	

※目標値については、5年間の累計、計画値・実績値については、年度毎の数値

iii) 主要な施策

ア 歴史・文化のまちづくり事業

		方針	継続	番号	3201
事業名	歴史・文化のまちづくり推進	担当部	市長公室		
		担当課	シティプロモーション課		
事業概要	津島駅西地域の歴史・文化ゾーンにおいて、小路整備事業、町家・山車蔵等の修景費補助事業、ポケットパークや案内板整備事業など歴史・文化を活かしたまちづくりを進める。				
H29	実績	・国庫補助事業事務			
	評価	・歴史・文化の整備を図りつつ、市の財政状況も考慮し、都市再生整備計画を変更出来た。			
H30 取組	・歴史的風致維持向上計画(案)策定 ・国庫補助事業事務				

		方針	継続	番号	3201
事業名	高質空間形成施設整備事業	担当部	建設産業部		
		担当課	都市整備課		
事業概要	歴史・文化ゾーンにおいて、本町筋及び散策ルート周辺の小路のカラー舗装・側溝整備等を行い、歴史的建造物の周辺環境の整備を図る。また、散策ルート周辺に散策者が休憩出来るスペースを整備する				
H29	実績	本町筋整備 L=482.8m、小路整備 L=102m ポケットパーク工事(2箇所)			
	評価	美装化整備及び小路整備の実施を行った。			
H30 取組	小路整備 L=1,163.7m、本町筋整備 L=417.3m 平成31年度に完了できるよう事業調整を行う。				

		方針	継続	番号	3201
事業名	山車蔵修景整備事業	担当部	教育委員会		
		担当課	社会教育課		
事業概要		山車蔵の整備を保存団体等と情報交換を行い進める。			
H29	実績	山車蔵の建て替え1件、一部改修2件を補助する。			
	評価	山車蔵の建て替え1件、一部改修2件を補助。			
H30 取組		山車蔵の修景・建替えにかかる経費を補助する。 時限的な補助事業であり、一つでも多くの山車蔵の機能が向上できるよう積極的な事業実施を保存会に促す。			

イ 堀田家住宅等の保存・活用

		方針	継続	番号	3202
事業名	堀田家住宅及び氷室作太夫家住居の活用及び整備事業	担当部	教育委員会		
		担当課	社会教育課		
事業概要		市民や民間団体、地域団体、文化団体による堀田家住宅を活用したイベントの実施をする。また、老朽化した施設を計画的に整備する。			
H29	実績	堀田家住宅排水部等修繕、氷室作太夫家住居の朽ちた塀や樹木の撤去、堀田家住宅において日韓交流文化イベントや、各種企画展示を実施。			
	評価	堀田家住宅での事業の幅が広がった。			
H30 取組		堀田家住宅の耐震及び氷室作太夫家住居の改修方策を検討する。 所蔵資料の整理、研究を進める。 多様な文化イベント・企画を行い、観覧者数を延ばすとともに、庁内外での文化財保護に向けた気運の醸成と何より必要な職員の配置を求めていく。			

【施策3】 シティプロモーションの展開

i) 施策の方針

若い女性の流出の抑制及び若い世代の移入の促進 → 都市のイメージアップ

地域資源の新たな魅力の創造 → 地域の資源を生かしたグッズ開発等、地域ブランド商品の開発

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成29年度の実績値の割合です。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	達成度
津島市公式 HP アクセス数(件)/各年	目標値	547,500	計画	450,000	510,000	520,000	99%
	基準値	263,066					
転入者数(20~39歳)(H27~31年度の平均)(人)	目標値	1,350	計画				94%
	基準値	1,100					
			実績	417,299	491,533	547,496	
			実績	1,222	1,132	1,266	

iii) 主要な施策

ア シティプロモーションの推進

		方針	継続	番号	3301
事業名	シティプロモーションの推進		担当部	市長公室	
			担当課	シティプロモーション課	
事業概要	津島市の魅力を創造し、それを地域のイメージとしてブランド化させ、市内・市外へと発信する様々な取組を推進する。				
H29	実績	散策マップの印刷・配布			
	評価	中部国際空港、名古屋駅観光案内所等で配布し、市外へも効果的な発信が出来た。			
H30 取組	・散策マップの印刷・配布				
	・シティプロモーション基本方針(案)の作成				

イ 地域資源の情報発信

		方針	縮小	番号	3302
事業名	にぎわい創出プロジェクト事業	担当部	市長公室		
		担当課	シティプロモーション課		
事業概要		まちの魅力の掘り起し、磨き上げを行い、それらを地域住民等が津島 OSHI となって効果的に情報発信することにより、まちのイメージアップを図り、まちににぎわいを創出し、人口流出に歯止めをかけ、移住・定住人口の増加に寄与する。			
H29	実績	・津島市探訪(まち歩きツアー)の実施・マップ作成・にぎわいネット津島の管理運営・津島 OSHI の募集・映像づくりワークショップの開催・ステーション募集登録・コンシェルジュ育成講座			
	評価	・津島市探訪(まち歩きツアー)等により交流人口を増やすことが出来た。 ・映像の活用等により効果的な情報発信が出来た。			
H30 取組		津島市探訪(まち歩きツアー)の実施、マップ作成・にぎわいネット津島の管理運営、津島 OSHI の募集、映像づくりワークショップの開催、ステーション募集登録、コンシェルジュ育成講座			

		方針	縮小	番号	3302
事業名	滞在型観光による地域再生プロジェクト事業	担当部	市長公室		
		担当課	シティプロモーション課		
事業概要		市内に宿泊施設を確保し、滞在時間を延ばすことにより、人の流れを生み出し、まちの雇用、にぎわいを創出する。また、宿泊者に対して宿泊のサポートを行う滞在型サポートサービスの組織化を図り、滞在機能を高める。			
H29	実績	・2次モニタリング、試行事業 ・滞在型サポートサービスの組織化 ・施設改修 ・多言語対応散策マップ・観光パンフレット・HP作成			
	評価	・大都市圏からも多く参加していただいた。 ・2月1日に旅館業法の許可を取得出来た。 ・3軒の空き家を宿泊施設に改修出来た。 ・日・英・簡・繁・韓の多言語散策マップ・観光パンフレット・HPを作成した。			
H30 取組		・宿泊事業の本格実施 ・インバウンド観光企画の導入、販売			

基本目標4 時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守る

災害から市民の生命と財産を守ることができる安全なまちづくり、高齢になっても健康で安心して暮らすことができる環境づくり、市民と行政が協働して健康で安心な暮らしができる都市の実現を進める。

I 目標指標

基本目標に掲げる指標は下記のとおりです。

目標指標名	目標値 ^(平成31年度)	基準値 ^(平成27年度)
地域の医療体制に満足している人の割合(%)	70.0	43.5
住みやすいと感じている人の割合(%)	66.4	45.9

II 各方針の状況

【施策1】防災・減災対策の充実

i) 施策の方針

災害から市民の生命と財産を守る対策を強化



安全な避難場所の確保や災害時に必要な情報を的確、迅速に伝える情報システムの構築

市民の防災意識の向上



家庭における防災・減災について話し合い

災害時の円滑な避難のため、自助、共助の取組の強化



自主防災会やコミュニティ推進協議会の自主的な活動の促進

ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成29年度末時点の実績値の割合です。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	達成度
			防災訓練参加者の割合(%)/各年	目標値	20.0		
	基準値	6.1					
	計画			8.0	10.0	15.0	39%
	実績		6.9	6.63	7.70		
災害時の民間協力一時避難所に関する協定締結件数(件)※	目標値	40					63%
	基準値	20					
	計画			27	31	35	63%
	実績		23	24	25		

※目標値については、平成32年度末の数値、計画値・実績値については、年度末の数値

iii) 主要な施策

ア 自主防災活動の推進

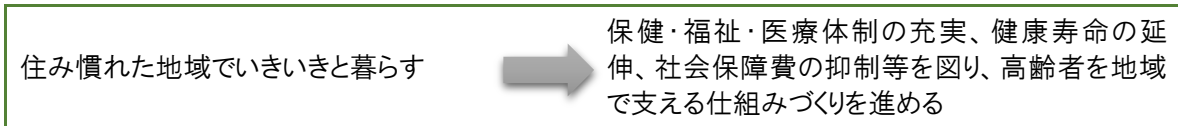
		方針	継続	番号	4103
事業名		自主防災活動推進事業		担当部	市長公室
		担当課	危機管理課		
事業概要		各小学校区自主防災会を、より強固な組織とするために町内単位の自主防災組織を設置し、地域住民相互の助け合いによる防災活動を支援する。			
H29	実績	町内単位の自主防災組織を設置し、防災活動を支援			
	評価	計画通り			
H30 取組		町内単位の自主防災組織を設置し、防災活動を支援。 町内単位の自主防災組織の必要性を理解してもらい、を設置し、防災活動を支援。			

イ 災害協定の推進

		方針	継続	番号	4102
事業名		災害時協定推進事業		担当部	市長公室
		担当課	危機管理課		
事業概要		災害時における各種応援や、一時避難場所確保に向け、民間事業所等との協定締結を推進する。			
H29	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所訪問 ・協定締結に係る各種情報収集 			
	評価	計画通り			
H30 取組		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所訪問 ・協定締結に係る各種情報収集 一つでも多くの協定を締結し、地域の防災力の向上を図る。			

【施策2】 健康寿命の延伸

i) 施策の方針



ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成29年度の実績値の割合です。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	達成度
国民健康保険加入者の特定健康診査受診率(%)/各年	目標値	60.0	計画	40.1	40.0	42	66%
	基準値	39.0	実績	38.1	39.0	39.5	
健康づくりに関するボランティア会員数(人)/各年	目標値	240	計画	160	180	200	80%
	基準値	121	実績	151	160	193	

iii) 主要な施策

ア 生活習慣病予防の推進

		方針	継続	番号	4202
事業名	第2期健康日本21津島市計画の推進		担当部	健康福祉部	
			担当課	健康推進課	
事業概要	「世代をこえて 笑顔で 健幸 つながる つしま」を目指すため、平成28年度から10年間を期間とする「健康日本21津島市計画」を推進するためのワーキングで、具体的な施策を展開する。				
H29	実績	計画に基づく施策の実施			
	評価	重点課題の目標達成のため、月に1回のワーキングを行い、健康施策を検討し、具体的な健康づくり活動を推進する。			
H30 取組	計画に基づく施策の実施。重点課題の短期目標達成のため、関係機関等と連携し、健康づくり活動の推進を行う。				

		方針	継続	番号	4202
事業名	特定健康診査事業		担当部	健康福祉部	
			担当課	保険年金課	
事業概要	メタボリックシンドロームに着目した健康診査(特定健診)を行い、対象者の人に保健指導(特定保健指導)を実施する。				
H29	実績	対象者に特定健診(特定保健指導)の受診券(利用券)を送付。【がん検診受診券との共同発送】、未受診者にハガキ・電話勧奨により受診を促し、既受診者には受診の重要性を伝えた。			
	評価	特定健診の受診率は前年度より増加。特定保健指導終了率は未定だが、健診結果と保健指導が同時に利用できるよう結果通知表の様式を見直したため上昇する見込みである。			
H30 取組	対象者に特定健診(特定保健指導)の受診券(利用券)を送付。未受診者にハガキ・電話勧奨により受診を促し、既受診者には受診の重要性を伝える。新規受診者の確保と、既受診者が受診を中断しないよう受診勧奨を継続していく。				

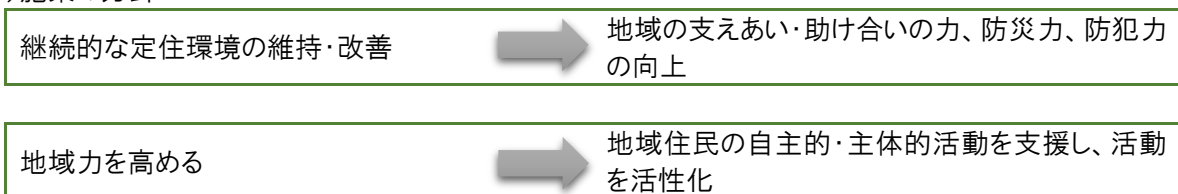
イ 市民の健康づくりの推進

		方針	継続	番号	4201
事業名	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業	担当部	健康福祉部		
		担当課	高齢介護課		
事業概要	第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、各事業を進めるとともに、第8期へ向けての調査研究をすすめる。				
H29	実績	第7期事業計画の策定			
	評価	策定委員会を5回開催し、第7期事業計画を策定した。			
H30	取組	第8期事業計画に向けた実態調査(アンケート)の実施と分析を行う。			

		方針	継続	番号	4201
事業名	健康マイレージ推進事業	担当部	健康福祉部		
		担当課	健康推進課		
事業概要	健康づくりに関する取組みを継続することで、マイレージ(ポイント)を獲得することができ、一定以上のマイレージを貯めた人に、県内の協力店で特典を受けられる優待カード「MyCa(マイカ)」を交付するもの。				
H29	実績	健康マイレージ事業の拡充			
	評価	老人クラブへ依頼し、健康マイレージの周知啓発活動を行った。 保健センターが行う小学校5年生対象事業に健康マイレージを盛り込んだ。			
H30	取組	健康マイレージ事業の拡充。各関係機関や事業と共同し、マイレージの周知啓発活動を進める。			

【施策3】 自治活動・市民活動の活性化

i) 施策の方針



ii) 重要業績評価指数(KPI)

達成度は、当初に掲げた目標値における平成29年度末時点の実績値の割合です。(※目標値は平成31年度末、基準値は平成27年度設定)

			27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	達成度
津島市市民活動団体登録数(団体)※	目標値	150	計画	120	130	140	85%
	基準値	35	実績	59	110	127	

※目標値については、平成32年度末の数値、計画値・実績値については、年度末の数値

iii) 主要な施策

ア 夢まちづくりセンター開設・運営

		方針	継続	番号	4301
事業名	夢まちづくりセンター開設・運営		担当部	市民生活部	
			担当課	市民協働課	
事業概要	市民活動の拠点施設となる市民活動センター(つしま夢まちづくりセンター)の運営を行う。今後の運営については、他へ運営委託を検討していく。				
H29	実績	活動に役立つ情報の収集・発信や各種相談、市民活動団体交流会の開催、コピー機・印刷機等の機器類貸出などを行い市民活動の支援をした。			
	評価	市民活動の拠点として市民活動センターを運営した。			
H30	取組	活動に役立つ情報の収集・発信や各種相談、市民活動団体交流会の開催、コピー機・印刷機等の機器類貸出などを行い市民活動の支援をする。今後、センター運営を中間支援団体などの運営が可能性を検討していく。			